

角川庭園

角川庭園は、角川書店の創業者で俳人だった角川源義の邸宅を、杉並区が遺族から寄贈を受けて整備し、2009（平成21）年10月に開園した庭園で、詩歌に気軽に触れられる場所として一般公開しています。庭には俳句を詠むための草花が植えられ、四季折々の風景が楽しめます。

1955（昭和30）年に建てられた邸宅は近代数寄屋建築で、設計は、角川源義の俳句仲間でもあった建築家、加倉井昭夫です。2009（平成21）年11月に国登録有形文化財に登録されました。書斎の雰囲気を感じさせる展示室、茶室、詩歌室があり、茶室と詩歌室は有料で貸し出しています。



提供：荻窪三庭園

■ 角川源義(1917-1975)

富山生まれ。実業家、俳人、国文学者。1945（昭和20）年に角川書店を創業、「昭和文学全集」を刊行し全集ブームを作った。晩年には世界初となる俳句文芸専門の資料センター「俳句文学館」を設立し、俳壇の興隆に貢献した。代表句「花あれば西行の日とおもふべし」（「西行の日」）などがある。

■ 加倉井昭夫(1909-1988)

茨城生まれ。俳人「加倉井秋を」としても知られる建築家で、東京美術学校建築科を卒業し住宅や茶室の設計に携わる。戦後は俳誌「冬草」を主宰し、建築と俳句の両面で活動した。

角川庭園 東京都杉並区荻窪3-14-22

■開園時間 9:00～17:00（最終入園時間16:30）

■入園料 無料

■休園日 毎週水曜日、年末年始（12月29日～1月1日）